

生活支援
コーディネーター
通信

地域で行われている素敵な活動と人材をご紹介します♪



～コロナに負けない六月ウマチー～



カチャーシー

長堂地域で7/14(木)に五穀豊穡と地域の繁栄を祈願する六月ウマチーを開催。例年は太鼓や鐘を打ち鳴らし道ジュネーしながら地域の子どもや大人たちがどんどん集まり、綱引き、沖縄相撲、お神酒代わりのカルピスなどで楽しく行事を開催しているのですが、今年はコロナ禍のため、数名の役員と長堂公民館の屋外で健康づくりに励んでいた老人会メンバーが参加して少人数でウマチーの綱引きを行いました。男女に分かれ「ヒ～ヤ、ヒ～ヤ」と綱を引き、1回戦は男性陣がパワーの差で女性陣に圧勝すると、2回戦は女性チームが勝利し、口三線でカチャーシーを踊っていました。

ウマチーに参加した老人会の宮城副会長(84歳)は「長堂では皆コロナの中でも元気に頑張っているよ！今日午前中は地域ミニデイサービス、午後は公民館移動講座で卓球教室、その後はパークゴルフ、今は綱引きしてるさ～」と笑顔いっぱい話してくれました。長堂地域の先輩方の背中を見て、コロナに負けないパワーを感じました！



東西、男女に分かれて綱引き

男性のパワーには負ける～！



三線を奏でる
ヤス子さん(102歳)

古典音楽サークル～歌三線で健康づくり～

毎週水曜日の午後、社協1階和室では三線の音色が響きます♪

参加メンバーの大城ヤス子さんは御年102歳のご長寿！！70代から始めたという三線を弾きながら、普段の暮らしぶりを教えていただきました。この日ヤス子さんが着ていた服はなんと手作り。自宅では針仕事を楽しみ、服にはご自身でアイロンがけをしているそう。

「ヤス子さんの様に元気な100歳になりたい」と話すメンバーからはヤス子さんへの質問が飛び交います。「何をしている時が楽しいですか？」という質問には「やっぱり三線が一番！週に1回のサークルが楽しみよ～」とヤス子さん。あちこちも痛いよ～という言葉も出ましたが、「痛いから」と楽しみを諦めず、続けることが健康に繋がっているんだなと改めて感じました。



三線とゆんたくを楽しんでいます♪

☆ささえあい福祉銀行(フードバンク)の報告(令和4年8月上旬までの受付分)☆

『ささえあい福祉銀行』とは、市民の皆さんや企業等からご提供いただいた食品などを、子育て世帯や生活困窮世帯など必要としている方へお渡しする事業です。

●ご協力をお願いします

※賞味期限が1ヵ月以上残っているもの、未開封のもの【米、レトルト食品、インスタント食品、缶詰、乾物、調味料・飲料(アルコール不可)】。家庭菜園などの野菜や規格外で余った野菜も受付しています。

○ご協力頂いた皆さん

仲里利信さん、宮城さん(浦添市)、浦添正光さん、大城さん(字翁長)、大城孝代さん、垣花春教さん、齋藤さん(7ラツサークル)、CAFÉ 赤嶺さん、長嶺直さん、平敷慶隆さん、棚原さん、合資会社富士物産(宜保勇)さん、糸満漁協協同組合(ソデイカ生産部会)さん、ケーキ工房・クルール(仲西)さん、那覇南ロータリークラブさん、沖縄セルラー電話株式会社さん、豊見城中央病院さん、ママサボ結(神里)さん、共育ステーションつむぎさん、ひまわりファクトリーさん、市防災管財課(災害備蓄食料)さん、ダスキンかいほうさん、その他多くの匿名希望さん。ありがとうございました。

『ささえあい福祉銀行』に、協力できる方・利用したい方は、市社会福祉協議会へお問い合わせ下さい。TEL: 856-2782

地域福祉のためにご寄付ありがとうございました

地域福祉のために役立てて下さいと、次の方々より市社会福祉協議会に対し心温まるご芳志が寄せられました。

この寄付金は、市の地域福祉向上のために有効に活用させていただきます。

◇寄付金	令和4年8月4日現在
ダイセーロジスティクス株式会社(字豊崎)	30,000円 寄付金として

ご芳志どうもありがとうございました。

社協だよりの印刷費には、 赤い羽根募金の配分金が含まれています。



ふれあいネットワーク

社協だより

第168号

発行所
豊見城市社会福祉協議会
豊見城市字平良467-4
電話 856-2782
FAX 856-2774



つながりをたやさない社会づくり ～あなたは一人じゃない～ 赤い羽根！ 10月1日より赤い羽根募金運動が始まります。

さわやかな秋風とともに共同募金運動の季節がやってまいります！

私たちの地域では、生活にお困りの方や助けが必要な方がおります。このような方々が少しでも幸せになれるように、ひとりひとりの小さな思い、真心で集められた寄付金は大きくなって、県内の福祉施設整備や豊見城市内の地域福祉活動や各種事業に役立てられます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



令和4年度 目標額	豊見城市内の地域福祉活動費へ	3,904,000円
6,909,000円	県内の福祉施設や団体等へ	3,005,000円

戸別募金：一世帯当たり500円を目安にご協力をお願いいたします。
 職域募金：行政・企業・施設・団体等の職場を対象にご協力をお願いいたします。
 街頭募金：スーパーの店舗等で通行人にご協力をお願いいたします。
 学校募金：市内小中高校の児童生徒の皆さんに福祉教育の一環としてご協力をお願いいたします。



“もったいない”を“ありがとう”に変える『フードドライブ』へのご協力をお願いします。

ご家庭で余っている“食品”などがありましたら、ご寄付をお願いします。提供された“食品”は、子どもの居場所や生活にお困りの方へ提供されます。

<ご寄付いただきたい食品>

- ◎お米(タイ米、ジャスミンライス、玄米などは不可)◎粉もの(小麦粉、ホットケーキミックス、お好み焼き粉など)◎乾麺(インスタントラーメンやそうめん、パスタなど)◎乾物(わかめ、こんぶ、切り干し大根、かつおぶしなど)◎インスタント・レトルト食品 ◎缶詰(ポーク缶、ツナ缶、スープ缶など) ◎各種調味料◎食用油 ◎お菓子(チューチュー(常温)なども)◎缶、ペットボトルに入った飲み物(麦茶パックなども) ※アルコールは不可(料理用(みりん・料理酒等)は可)

<寄付食品の条件>

- ◎未開封の食品(包装や外装が破損していない、中身に異常がないこと)
- ◎賞味期限が1ヵ月以上残っている食品(賞味期限が明記されていること)
- ◎常温で保存が可能な食品
- ◎製造者名が記載されている食品
- ◎お米は精米日から一年以内のもの

ご寄付は、豊見城市内の〒郵便局【豊見城・真玉橋・豊見城団地・豊崎】に設置された『フードボックス』へお願いします。



『寄付』は、いつでも、だれでも参加できる“ボランティア活動”です。